

矢川光則氏【被爆ピアノ】 伊勢原での公演経緯

2011年 (平成23年)	「被爆ピアノコンサート」 in 伊勢原 ※2011年11月3日中沢中学校・体育館にて開催
8月	都内：麹町教会 【被爆ピアノ】の存在を知り矢川光則氏と出会う
9月中旬～ 開催まで	矢川氏から 「11月3日の午前中、小田原でコンサートがあるので、伊勢原に伺いましょうか?... 公演される場合は、広島料金で良いですよ」...と、ご連絡があり 当時《大山とうふまつり：夢心亭コンサート》の企画の提案を依頼されていた事もあり、 相原秀樹氏（夢心亭）にその旨、伝えたところ 「矢川さんがせっかく来るのであれば、話を聞くだけじゃなく、ピアノの音色も聞きたい よね。矢川さんのお礼は自分が保証するからコンサートを企画しましょう」... 全く資金が無い中、相原氏の提案のお陰で企画をスタート。 また、 古川恵子女史（ピアニスト）と奥田憲弘氏（伊勢原市中学校元教員：口笛世界大会優勝） のお二方に相談、賛同頂き、奥田氏の提案により実行委員会を立ち上げる。 伊勢原市文化会館 小ホールの予約が取れ、実行に向かい計画を進めていたところ、 会館よりブッキングしていたと断りの連絡が入り、その場で奥田氏により、 中沢中学校校長（当時）の長塚先生にご連絡。中学校の体育館を使用させていただけるこ とになった。 市民の皆様のご協力を仰ぎ(1000円=1口) 500名以上の方々からご賛同いただいた。
	【来場者】 約800人 【寄贈本】 書籍「海をわたる被爆ピアノ」（伊勢原市内：全ての小中学校へ寄贈） 【義援金】 震災の義援金30万円が11月10日、福島県の二本松市、本宮市、大玉村へ送られ た。実行委員の一人・相原秀樹さんの友人である阿部実さんが二本松市に勤務しているこ とから、阿部さんを通じて3首長に手渡された。（タウンニュースより）

【出演者】	【賛同、協力、御尽力頂いたスタッフ】
<ul style="list-style-type: none"> ・古川恵子（ピアノ） ・古川貴子（ピアノ） ・能條考世（ヴァイオリン） ・奥田憲弘（口笛） ・グリーンパール（コーラス） ・酒井道子（朗読） ・所昭雄：中尾おばなの会ミニサロン所属 (戦争体験の話) ・相原秀樹（話し） ・高松京子（ソプラノ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中沢中学校：先生方（被爆ピアノ搬入出） ・中沢中：部活生徒（椅子600脚会場作り） ・中台和子（地域福祉を考える会） ・榎本みさこ（民生委員、中尾おばなミニサロン所属） ・振原隆行（魚亀） ・振原みゆき ・振原千夏子 ・熊澤美徳（駐車場提供：花富ホール） ・タウンニュース（報道）

2021年 (令和3年)	「被爆ピアノコンサート」 in 伊勢原 2021	
3月	5日	緊急事態宣言により、3月13日の厚木市公民館でのコンサートが行えなくなる
	6日	上記の件を若林紘一氏（伊勢原手作り甲冑隊）にご相談
	8日	伊勢原市に繋いで頂き、御尽力のお陰で【伊勢原市制50周年記念事業特別企画】 平和の祈り～《被爆ピアノとともに》伊勢原駅前広場で開催決定する 能條恵子女史に御尽力頂き、考世さん（娘さん）の母校である中沢中学校の北村校 長先生にコンタクトを取って頂き、14日に部活等の生徒さん向けにコンサート開催 決定する
	13日	『市制50周年記念～平和祈念』コンサート 豪雨の中... 伊勢原手作り甲冑隊皆様の御尽力により決行 【来場者】 約100名 ----- 夕方、亀井素代女史の御尽力により 翌日、下落合八幡神社での被爆ピアノコンサート開催の許可を頂いた旨、 亀井素代女史から連絡を頂く
	14日	午前中：『中沢中学校』コンサート 能條考世さん（ヴァイオリン） 能條恵子さん（ピアノ） 親子共演でも御尽力頂いた 【観覧者数】 約50～60名 ----- 午後：『下落合八幡神社』 【来場者】 約100名

2023年 (令和5年)		「被爆ピアノ 平和の授業」 in 伊勢原 2023	
11月	20日	<p>午前中：『成瀬小学校』平和の授業 今井仁吾 校長先生</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川貴子（ピアノ） ・能條考世（ヴァイオリン）卒業生 ・渡辺俊爾（ピアノ） <p>※ 亀井素代女史ご尽力により、今井校長先生に繋いで頂き、また、成瀬小中学校 PTA（OB）匿名スポンサーにより実現</p> <hr/> <p>午後：『成瀬中学校』平和の授業 北村雅彦 校長先生</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川貴子（ピアノ）卒業生 ・能條考世（ヴァイオリン） ・渡辺俊爾（ピアノ）卒業生 <p>= 経緯について以下参照 =</p> <p>78年前の8月6日、原爆が投下された広島で焼失を免れた「被爆ピアノ」による演奏会が11月20日、成瀬中学校（北村雅彦校長）で開かれた。伊勢原ひかりライオンズクラブ（大山学会長）などの支援でピアノを所有する調律師の矢川光則さんを招き、実現した。</p> <p>冒頭であいさつに立った北村校長は青と黒に塗った紙を用意し「平和な状態と悲惨な状態はこの紙のように表裏一体であり、平和を維持する大切な気持ちを忘れた瞬間に闇のような世界になる。平和と危険が常に隣合わせだということを感じてほしい」と話した、</p> <p>自前のトラックに被爆ピアノを積んで全国を巡り、平和の種をまき続けている矢川さん。16年ほど前にもとの持ち主からピアノを譲り受けた経緯について語り「持ち主の方が号泣されてとても辛かったが、今では平和のピアノとして大きな役割を果たしてくれている」と述べた。</p> <p>当日は古川貴子さん、渡辺俊爾さんがピアノを、能條考世さんがバイオリンを演奏。ベートーベン作曲ピアノソナタ第26番「告別」、サン・サーンス作曲「祈り」に生徒たちは真剣な表情で聴き入っていた。（タウンニュースより）</p> <p>夕方：『サポセン』【お母さんの被爆ピアノ】上映会 参加者：10名</p>	

2023年 (令和5年)		「被爆ピアノ 平和の授業」 in 伊勢原 2023	
11月	22日	<p>夕方：『アゼリア』矢川さんとの食事会</p> <p>【参加者：12名】</p> <p>... 帰り際に、ご家族でいらしたお客様からお声がけ頂き、子供が成瀬小中学校のお父さんから、「とても素晴らしい平和の授業だったと子供等から聞いている」と、お話しくださいました。</p>	
	23日	<p>午前中：『シティプラザ』被爆ピアノカフェ</p> <p>主催 → カフェCuore 伊勢原 代表 → 亀井稔氏</p> <p>支援協力 → 坂本組</p> <p>【来場者】 約100名</p>	

2024年
(令和6年)

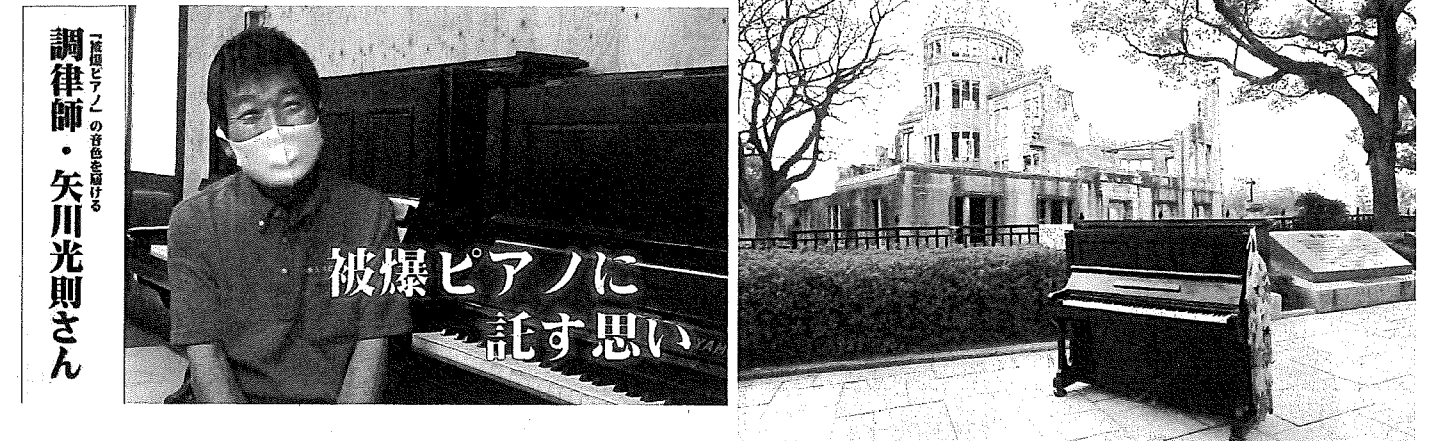
「広島原爆投下直後の記録」上映会

8月	10日	17時～18時30分「広島原爆投下直後の記録」上映会 『サポセン』 被爆ピアノ 矢川さんのおはなし 【演奏者】 ・渡辺俊爾 ・瀬戸陽平 (柏ヶ谷中教員) 【参加者】18名 ... 音楽仲間である (県央音楽家教会：会員) 霜島恵 (元 柏ヶ谷中校長) によるお声がけで 有馬中校長 久保谷由美子 有馬中教員 雄長浩文 柏ヶ谷中教員 瀬戸陽平 柏ヶ谷中教員 福場裕梨 伊勢原市立緑台小校長 佐藤幸也 以上の先生方も、是非とも！と、ご来場参加頂いた。
	11日	「広島原爆投下直後の記録」上映会 『伊勢原大神宮』 被爆ピアノ 矢川さんのおはなし 振原隆行氏の御尽力により、伊勢原大神宮に繋いで頂き 宮司：宮本氏の御厚意により開催 【参加者】12名 (内：小学生2名)
	12日	10時30分～12時30分 *被爆ピアノ*と旅する矢川さんの話し会『平和を語ろう』 『石田自治会館』 本山道子女史：みんなでuniアート (主宰) 御尽力により開催

以上：伊勢原【被爆ピアノ】矢川光則氏 来場公演記録

平和学習 講演会

— 被爆ピアノ —



講師：矢川光則 (やがわみつりの) 様

1952年に広島に生まれ、18才で上京した後、大手ピアノメーカー等の勤務を経て、1993年に生まれ育った広島で、ヤガワ楽器調律センターを開業しました。また、1995年にピアノ工房の建設を機に古いピアノの再生を行い福祉施設等への寄与をする奉仕活動を始めました。奉仕活動を重ねる中「被爆(ひろしま原爆)ピアノ」と出会い、2001年より平和記念公園でコンサートを始め、現在は全国で「被爆(ひろしま原爆)ピアノ、平和コンサート」を行っています。

朝日新聞2021年 一部抜粋

鍵盤を弾いて、原爆や戦争被害に思いをはせ、全国で被爆ピアノの演奏会を続けるピアノ調律師・矢川光則さんは自身の工房敷地内に「被爆ピアノ資料館」を造る。4トントラックにピアノを積み込み、全国を駆け巡って15年超。次世代を担う子どもたちがいつでも「被爆資料」に触れ、学ぶ機会を作りたいとの願いが根底にある。

当時広島市の爆心地から約1.5～3キロの民家や小学校にあったアップライト、グランドピアノ計6台に加え、名古屋市、呉市で空襲を経験したピアノなど、所有する10台程度を展示する。古いものは製造から約100年になる。館内にスクリーンを設け、ノルウェー・オスロで2017年、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のノーベル平和賞受賞記念コンサートで演奏された時の映像や、各地での演奏会の様子などを流す。

矢川さんが、被爆ピアノを貸し出す形で演奏会を始めたのは20年前の8月6日。周囲の声にも推され、被爆60年の05年から県外にも出向き始めた。これまで47都道府県の約150カ所で、計2500回以上にもなった。そのうち半分以上は「平和学習」の一環で、学校を訪れている。